

資料2

公認規定

リトルリーグ（メジャー）部門、マイナー部門、ティーボール部門、
インターミディエット（50/70）部門、ジュニアリーグ部門、
シニアリーグ部門、ビッグリーグ部門

IV－選手

(a) リトルリーグ（メジャー）部門：

各年の12月31日以前に年齢が9歳に達した候補者と12月31日以前に年齢が13歳に達していない候補者は、リトルリーグ野球に参加する資格を有する（当該部門の各リーグ理事会の調整に従う）。つまり、12月31日以前で12歳である児童は、当該年にプレーできる資格を有することになる。一方、12月31日以前に13歳に達した児童は、当該年の各リーグの試合またはトーナメント試合に参加する資格を持たないことになる。

注：12歳選手は一定の条件下においてマイナー部門に参加できる。

マイナーリーグ部門：

各年の12月31日以前に年齢が7歳に達した候補者と12月31日以前に年齢が13歳に達していない候補者は、マイナーリーグ部門野球に参加する資格を有する（当該部門の各リーグ理事会の調整に従う）。つまり、12月31日以前に12歳に達する児童は、当該年にプレーできる資格を有することになる。一方、12月31日以前に13歳に達した児童は、当該年の各リーグの試合またはトーナメント試合に参加する資格を持たないことになる。

インターミディエット（50-70）部門：

各年の12月31日以前に年齢が11歳に達した候補者と12月31日以前に年齢が14歳に達していない候補者は、インターミディエット（50-70）部門に参加する資格を有する。つまり、12月31日以降に14歳に達する候補者は、当該年にプレーできる資格を有することになる。一方、12月31日以前に14歳に達した候補者は、当該年のインターミディエット（50-70）部門の試合またはトーナメント試合に参加する資格を持たないことになる。

2015年、2016年、2017年についてのみの例外：

その年の5月1日から12月31日に13歳に達する選手はメジャー部門でプレーできる。当例外で適格となった選手は、メジャー部門でのプレーが可能となり、リトルリーグ（メジャー）野球国際トーナメントへの参加が可能となる。これは3年間の経過措置として設けられたものである。

要約：

この変更は、国際野球連盟（IBAF）に準拠した年齢決定日となるよう、すべての野球部門とチャレンジャー部門の年齢決定日を12月31日に変更するものである。前述したように2015年、2016年、2017年については3年間の経過措置が実施される。上記はメジャー部門での例である。野球の全部門とチャレンジャー部門についても同様の修正がなされる。

注：

日本におけるマイナー部門の年齢規定は上記によらず、各連盟で独自の規定を定め運用しているのが現状です。従って、この変更をどのように適用するかについては各連盟で決定することになります。

公認競技規則

リトルリーグ（メジャー）部門、マイナーリーグ部門、ティーボール部門、
インターミディエット（50/70）部門、ジュニアリーグ部門、
シニアリーグ部門、ビッグリーグ部門

- 1.17 男子選手は全員、アスレチックサポーターを着用しなければならない。男子の捕手は金属、ファイバーまたはプラスチック製のカップと、ロングタイプまたはショートタイプのチェストプロテクターを着用しなければならない。女子の捕手は、ロングまたはショートタイプのチェストプロテクターを着用しなければならない。~~ジュニア/シニア/ビッグリーグ部門の捕手はロングまたはショートタイプのチェストプロテクターを着用しなければならない。~~捕手は全員、襟付きプロテクターの他に、スロートガード、レガース、キャッチャーヘルメットを着用しなければならない。それらのすべてはリトルリーグ仕様及び規格を満たしていなければならない。キャッチャーヘルメットはNOCSAE仕様及び規格を満たし、NOCSAEスタンプが貼り付けられていなければならない。捕手は全員、内外野で

の練習中、投手のウォームアップ中、試合中にマスク、吊り下げタイプのスロートガード、キャッチャーヘルメットを着用しなければならない。

注(1)：スカルキャップ・タイプは認められない。

要約：

この変更は、マイナーならびにメジャー野球部門において男子の捕手がロングまたはショートタイプのチェストプロテクターを着用できるようにするものである。